



映像教材「18歳」を使った学習指導計画案

本時の学習テーマ： 青年期の課題 ～自立～

- (1) 小単元名： 「自立への第一歩を踏み出そう」
- (2) 目標： 青年期の特徴を知り、自立に向けて必要なことについて自ら考える。
自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理することの重要性を理解する。
課題に対応した意思決定ができるようになることの必要性を理解する。
- (3) 準備・資料： 映像教材「18歳」、『おとなドリル』（教育図書株式会社）、（ワークシート）
- (4) 評価方法：

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
青年期の自立について理解している。 「18歳成年」に伴う社会システムの変化について理解している。	「18歳成年」に伴うリスクの回避について考え、的確な判断ができる。 青年期をどのように過ごすかについて具体的に考え、意見をまとめ発表できる。	青年期の課題を自分の問題として捉えようとしている。

(5) 展開：

時間	指導過程	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
5分	「18歳成年」について解説する。	「18歳成年」のねらいや背景について理解する。	「18歳成年」が自分のこととして捉えられているか、確認する。	制度の改正について正しく理解しているか。 (活動の観察)
15分	大人の条件について考えさせる。	大人になる条件について考える。	『おとなドリル』p.2.3より大人になったらやりたいこととできることを発表させる。	自分の考えを発表できるか。 (活動の観察)
		成人年齢が18歳に引き下げられて具体的に変わった点を理解する。 18歳からできることとできないことをまとめる。	「18歳成年」への憧れと不安を具体的に導き出す。	ワークシートにまとめられているか。 (活動の観察・ワークシート)
		大人としてやらなければならないことについて考える。	契約締結に伴う責任が生じることを理解させる。	
20分	映像教材「18歳」を視聴させる。	映像教材を視聴する。	視聴する上でのポイントを指示する。 ①登場人物の気持ち ②問題点と回避(の方法)	視聴内容を受けて、自分の考えを発表できるか。 (活動の観察)
	内容についてまとめさせる。	登場人物の心の動きに寄り添い、自分だったらどうするかを考える。 ※「今後どうなるか?」について、ウェビングマップ(イメージマップ)を作成するのちよい。	主人公が最後の場面で言いたかったことについて考えを述べさせる。 ①自分に対して(心の声) ②友人たちに対して	
10分	大人になるために必要なことをまとめさせる。	大人には責任が求められること。 責任を持つためには知識と判断力を身につける必要があることを理解する。	そのために今、自分がやっておくべきことをまとめさせる。 ①生活面において ②学習面において ③精神面において	自分の考えを文章でまとめられるか。 (ワークシート)